

沿革

- 平成5年 4月 株式会社 放送衛星システム 設立
- 平成6年 6月 米国ヒューズ社（現ボーイング社）とBSAT-1 衛星製作・打ち上げの契約締結
- 平成9年 4月 川口放送衛星管制センター及び君津放送衛星管制所開設
アリアンロケットによりBSAT-1a 打ち上げ成功
7月 ヒューズ社からBSAT-1a を引き取り、翌8.1 より運用開始
- 平成10年 4月 アリアンロケットにより予備機BSAT-1b 打ち上げ成功
7月 BSAT-2（BS-4 後発機）の受託放送事業予備免許受領
ヒューズ社からBSAT-1b を引き取り、翌8.1 より運用開始
11月 BS-3N の管制業務をNHK、WOWOW から受託、業務開始
- 平成11年 3月 米国オービタル・サイエンス社とBSAT-2 衛星製作・打ち上げの契約締結
- 平成12年 1月 ハイビジョン推進協会からエンジニアリング・ストリーム送出業務受託
11月 BS デジタル放送用アップリンクセンター完成
12月 BSAT-1b によるBS デジタル放送を受託放送事業者として開始
- 平成13年 3月 アリアンロケットによりBSAT-2a 打ち上げ成功
4月 オービタル・サイエンス社からBSAT-2a を引き取り、
翌4.26 よりBSAT-2a によるBS デジタル放送サービス開始
7月 アリアンロケットにより予備機BSAT-2b を打ち上げたが、予定軌道に乗らず、全損
10月 米国オービタル・サイエンス社とBSAT-2b の代替衛星BSAT-2c の
衛星製作・打ち上げの契約締結
- 平成15年 6月 アリアンロケットにより予備機BSAT-2c 打ち上げ成功
7月 オービタル・サイエンス社からBSAT-2c を引き取り、運用開始（7.15）
- 平成16年 3月 エンジニアリング・ストリーム送出業務受託終了
6月 BSAT-3a（BSAT-1a 後継機）の受託放送事業予備免許受領
- 平成17年 5月 米国ロッキードマーチン社とBSAT-3a 衛星製作・打ち上げの契約締結
- 平成19年 8月 アリアンロケットによりBSAT-3a（BSAT-1a、1b の後継衛星）打ち上げ成功
9月 ロッキードマーチン社からBSAT-3a 引き取り
11月 BSAT-3a によるBS アナログ放送サービスを開始（11.1）
BSAT-3a によるBS デジタル放送サービスを開始（11.26）
BSAT-3b、3c（BSAT-2 系衛星の後継衛星）の受託放送事業予備免許交付
- 平成20年 4月 ロッキードマーチン社とBSAT-3b 衛星製作・打ち上げの契約締結
11月 地上デジタル放送の衛星利用による難視聴地域対策を行うための
放送衛星局の予備免許受領
12月 BSAT-3c衛星制作・打ち上げの契約締結（JSAT株式会社との共同調達）
- 平成21年 1月 平成23年度に向けたアップリンク設備の整備開始
5月 一部の形態のBS放送受信システムの電波干渉問題対策実施協議会からの委託に
よる調査・対策業務を開始（～平成22年3月）
- 平成22年 2月 地上デジタル放送の衛星利用による難視聴対策を行うための受託放送事業開始
10月 アリアンロケットによりBSAT-3b（BSAT-2 系衛星の後継衛星の一つ）打ち上げ成功
12月 ロッキードマーチン社からBSAT-3bを引き取り、運用開始